

## 第4回麻生区区民会議（全体会議）

- 1 開催日時 平成23年6月8日（水）午後3時～午後5時
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]  
天野委員、飯塚委員、石井委員、植木委員、魚本委員、大高委員、  
勝田委員、金光委員、菅原委員、高瀬委員、竹市委員、武濤委員、  
田中委員、土井委員、東川委員、福田委員、柳島委員、山崎委員  
（欠席）梶委員、鴨志田委員  
[参与]  
木庭参与、月本参与、吉田参与  
（欠席）雨笠参与、勝又参与、花輪参与、山崎参与、相原参与  
[区役所]  
瀧峠区長、渡辺副区長、小沼区民サービス部長、檀市民税担当部長、  
石川保健福祉センター所長、木下保健福祉センター副所長、  
中山こども支援室長、江澤道路公園センター所長、原橋総務課長、  
田中地域振興課長  
[事務局]  
安生企画課長、阿部企画課担当係長
- 4 傍 聴 5人
- 5 次 第
  - 1 開 会
  - 2 議 事
    - （1）地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について
    - （2）環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について
    - （3）企画部会の検討経過報告及び意見交換について
  - 3 その他
    - （1）第5回麻生区区民会議開催日程について
    - （2）その他
  - 4 閉 会

**【配布資料一覧】**

「次第」

資料1 地域交流・文化部会の調査審議状況

資料2 環境・緑化部会の調査審議状況

資料3 企画部会の調査審議状況

資料4－1 第3期麻生区区民会議スケジュール（案）

資料4－2 第3期麻生区区民会議テーマ別スケジュール（案）

資料5 平成23年度麻生区地域課題対応事業一覧

参考資料1 「麻生区生ごみアンケート」のお願い

参考資料2 「下草刈り」研修会のお誘い

## 第4回麻生区区民会議

日 時 平成23年6月8日（水）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

### 1 開 会

武濤委員長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより第4回麻生区区民会議を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。

### 2 議 事

武濤委員長 それでは、今日の議事並びに資料につきまして、事務局のほうから確認をしていただけますでしょうか。

事務局 配付資料の確認をさせていただきます。一番上に本日の会議の次第がございます。次に、右上のほうに記載されておりますが、資料1から5、その下に参考資料1と2がございます。資料以外に、委員の方には第5回区民会議開催日程調整表をつけております。皆さんに「麻生区生ごみアンケート」の回答用紙もございます。以上でございます。資料に不足等ございましたら、事務局までお申し出ください。

次に、本日の議事についての確認をさせていただきます。次第をごらんください。2つの議事といたしまして、まず3つの部会からの検討経過報告及び意見交換をそれぞれ行います。次に、3その他として、（1）第5回麻生区区民会議開催日程について、（2）その他について、平成23年度の地域課題対応事業について報告させていただきます。最後に、「麻生区生ごみアンケート」の記入をしていただければと思っております。

#### 調査審議課題について

##### （1）地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 それでは、今ご説明のありましたように、クリップでとめてあるものが今回の会議で最初に使っていただく資料になります。この区民会議は今回第4回目ですが、地域交流・文化部会、それから、環境・緑化部会の2つの部会が今いろいろな形で動いておりますので、それぞれの部会についての検討経過報告や意見交換について議事に入りたいと思います。

それでは、最初に、地域交流・文化部会の経過報告をお願いしたいと思います。地域交流・文化部会の竹市部会長、どうぞよろしくお願いいたします。

竹市委員 それでは、地域交流・文化部会の調査審議状況並びに今後の取り組みなどについて報告させていただきます。

ご存じのとおり、当部会は2つのテーマで取り組んでおります。一つ目が「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について、いま一つが「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」についてです。そのうち「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」につきましてご説明申し上げ、「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」につきましては、石井委員から報告させていただきたいと考えております。

まずは、「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」についてですが、資料1をごらんください。その左側一番上に「これまでに確認された事項」という項目があります。これは、今年の2月、第3回の区民会議で報告し承認された事項でございます。1つ目として「高齢者の課題を中心に、地域でささえ合うコミュニティづくりについて検討する。」、2つ目が「障がい者などのささえ合いについては、高齢者の課題を調査・審議する過程において関連性などを考慮しながら検討していく。」、こういう2つの項目が承認されたわけでございます。

特に、1番目、高齢者の課題を中心にということですが、その後具体的にどのような進め方、活動をしてきたかについて、その下の(1)「ささえあい」を進める担い手へのヒアリング調査結果というのがあります。現実に麻生区でたくさんの団体が高齢者等の支える事業を進めてきているわけですが、それらの実態を我々は把握しておかなければいけない、実態把握調査ということです。調査対象としましては、1つは、非常に関連性の高い区の社会福祉協議会（以下「区社協」）です。それから、2つ目に、これにつきましても区社協からご紹介いただいた関連するボランティア団体、例えば、グッドネイバーズとか柿の実会とか「さしす」です。町内会・自治会に関しては、新百合ヶ丘自治会、千代ヶ丘自治会、岡上町内会をヒアリングの対象として、ささえ合いをどのように進めているか、その担い手はどうなのかという点、それから、活動概況などを中心にヒアリングをしてまいりました。その結果、各団体が支え合いを進める上でどんな課題、問題を持っているかを調査することが主な目的であったわけで、それがこの右側に「主な課題等」ということで記載してあります。

まず、区社協では、町内会等各地区にささえ合い事業を広げ、不公平感のない支援実施や組織体制づくりやノウハウの提供などが必要と考え、既に区社協の中にささえ合い出前講座というものを設けて進めてきているわけでございます。そういう組織はあるわけですが、それがいま一つまだ地域に浸透していないという反省もおありのようでした。また、出前講座を開いているが、浸透がいま一つだということも1つの課題ということでした。

2つ目に、今度は、ささえ合いを利用するサイドです。ここでは、欲しい情報がなかなか入ってこないということをクローズアップしてきました。とすれば、その広報を、どのような形で進めたらいいかということも1つの課題として取り上げられてお

ります。

それから、ここに書いてある3つ目です。これは我々と直接関係あることではないようですが、区社協では、さらにささえ合い事業の実効性を上げるため、抜本的な制度の見直しを今検討しております。区民会議としてこれに直接意見をいうわけではございませんが、この動向を見守りながら我々の検討も進めていかなければいけないと思っています。

次に、ボランティア団体に関してです。調査先は先ほど申し上げましたとおりです。下に活動状況等が記載されております。「主な課題等」についてということで見ますと、団体によって多少の差はありますが、対象者からの依頼が非常に少ないという現実がわかってきました。対象者から依頼がないのはなぜなのだろうかということ、2番目に、やはり対象者が受けやすい、あるいは知りやすい情報提供のあり方なども問題があるのではないかと思います。既存の情報発信だけでは対象者への周知がなかなか難しいのではないということも課題として取り上げ、次の対策というところで検討していきたいと考えているわけです。

そして、3番目に、取材の当事者からの意見として出されているところでございますが、自分たちの活動がなかなか理解されていないということで、それぞれの団体の取り組みを皆さんにPRする場が欲しいという要望が出ています。1つの方法として、例えばフォーラムを開くとか、関係団体の人に集まってもらうという方法もあるかと思いますが、そういう問題も起きております。

また、共通の問題として、やはり活動の場所、人材の確保及び活動資金の問題等が提示されてきております。ボランティアでずっとやってきて、学生のころはそれでよかったけれども、社会人となってからのボランティアは、生活の面を考えると非常に厳しいということもクローズアップしてきております。

町内会・自治会に関してですが、3町会ではありますが、非常に活発なおのあの活動をされているなという実感を持ちました。課題としましては、高齢者、障がい者、子供などが情報を入手するのが困難、これも前と同じような課題を持っております。

2番目に、町内会の役員の任期が非常に短い。1年というところが多いようでございます。そうしますと、役員に就任して1年たつと任期が終わって、町内会の事情がわかったところで終わりということで、この現状を考えると、新しい事業、特にささえ合い事業を展開するのには困難じゃないかと思います。そのためにどうするかということを、ヒアリングした3町会共通の意見としてお持ちでございました。

それから、3番目に、例えば、岡上町内会などは、グッドネイバーズと民生委員が連携したささえ合い事業を展開しているわけでございます。また、新百合ヶ丘自治会等におきましては、防犯・防災活動を通じて地域のつながりを強めていこうという計画を実行しつつあるわけでございます。この辺に、我々がこれからささえ合いを検討

する1つの目標といたしますか、ヒントがあるのではないかと考えているところです。

4番目に、町内会で既に支える事業をやっていますが、有料のサービスを利用する人が多くなっているという実態が浮き彫りになっております。これは、前にボランティア団体に関してのところでも同じような意見が提示されております。

それから、ここに書いてはありませんが、5番目として、町内会等の役員、それから今までの活動の中心になっている人の高齢化ということが問題になっております。高齢化の対策として、やはり若い人というか、現役世代の地域活動への参加がどうしても必要であり、地域活動にどのように参加を誘導するか、参加してもらう方策を立てるかということが1つの課題となってくるわけでございます。これも1つの課題として取り上げさせてもらいたいと思っております。

最後に、一番右に「今後の取組み」を掲げておりますが、ヒアリングの結果、ここに掲げてあるもの以外にたくさんの課題があるわけです。この課題を整理して、必要であれば、新しく追加調査ということもこれから検討をしていかなければと考えております。

次に、課題解決に向けた取組みの検討ということで、今まで述べてきたような課題を踏まえて、2つほど提案させてもらっています。1つは、「ささえあい」の取組みを広く周知するための広報方法の検討ということです。2つ目は、先ほども申し上げましたとおり、災害時の助け合いに焦点を絞った取組みの検討ということで、災害時と絞ってはいますが、ふだんからの隣近所のおつき合い関係とか、きずなが支え合いの基盤になりますし、災害時の助け合いといっても、その基盤がなければなかなか進まないものと考えられます。

3月11日の東日本大震災後、ボランティア団体、町内会・自治会等の避難施設での活動状況が再三テレビで放映されております。評論家や専門家などは、きずなが大切なんだと異口同音に言っております。「きずな」「きずな」という抽象名詞をいくら聞いてもきずなはできません。このきずなをどういうふうにつくっていくか、具体的にそういうものができるか、言葉だけではなくて、きずなの実態というか、きずなを醸成する基盤づくり、そんなことを1つこれからのテーマとして考えていかなければならないと考えております。

それから、この取組みの担い手です。今まで、行政、町内会、ボランティア団体、そのほか、それぞれの機能をどのように発揮してもらうか、実効性のある組織につくり上げるか、そこも1つの検討課題かなと考えております。

以上、簡単ですが、「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」についての報告を終わらせていただきまして、次に、先ほど申し上げましたように、「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」については石井委員から報告していただきたいと思っております。

石井委員 石井です。本来は武濤委員長と菅原委員で中心にまとめさせていただいたものですが、私のほうで報告させていただきます。

「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」についてですが、一面のほうのヒアリング等が5月までかかりました。それもありまして、6月以降のヒアリングということのを頭に置いて、今後の活動をどうするか検討しております。

「これまでに確認された事項」としまして、1に書いてあります「『しんゆり・芸術のまち』として、新百合ヶ丘駅周辺を中心に、様々な事業やイベントが実施されている。それらの事業が、まだ『点』としての存在であるため、『面』としての広がりを持たせ認知度を高めるために、必要な事項を調査・検討する。」ということが課題となっています。2として、まず「現状の把握並びに課題の整理を行うため、新百合ヶ丘駅周辺で活動を実施している団体等にヒアリング調査を実施する。」という方法を考えております。右側に絵でかいてありますが、「しんゆり・芸術のまち」づくりを、今後、点から面に発展させるために必要な状況は、各団体が抱えられている課題等をヒアリングして、その課題をまとめてご報告するという形にしたいと思っております。

(1) ヒアリング調査の概要ですが、麻生区をフィールドとした芸術、文化関係の団体は幾つかあります。今回は、この中で実際に催し物をされているものを対象として1から8まで選んでおります。麻生音楽祭、KAWASAKI しんゆり映画祭、川崎・しんゆり芸術祭——アルテリッカ、Kirara@アートしんゆり、しんゆりオリーブまつり、さらに、歴史のあるあさお区民まつり、あさお福祉まつり、あさお芸術のまちコンサートがずっと続けられております。これらを開催されている団体へヒアリング調査を実施する計画です。主に6月から開始してまいります。

9月までの間に、先ほどの地域交流部会で、町内会、ボランティア等に、ヒアリングされているような調査方法を参考にして、部会の委員で分担して行いたいと思っております。その報告を9月に開催予定の区民会議で経過報告させていただいて、時間的には、12月までにヒアリング調査の結果を取りまとめて、1月には課題解決に向けた提言内容の取りまとめができればという目標で進めたいと思っております。区民会議フォーラム等が開催されるのであれば、そこでの報告を目指して調査をしていきたいと思っております。

この期間、5月に、(2) 川崎・しんゆり芸術祭2011が開催されました。昨年、第2期の区民会議においては、このアルテリッカの側面支援を行うためにモデル事業を実施されてきました。今年度は、昨年度実施された麻生区文化協会さんと、区役所のこども支援室が共催で実施していただいたものに対して区民会議が協力するという形で、麻生区認可保育所年長児の作品展が新百合21の通路ギャラリーで開催されています。これは4月27日から5月8日まで、そこに書いてあります参加保育園で行

われています。菅原委員がこの文化協会にも関係していただいております、我々は、側面的に協力する形ですが、それを成果としてここでご報告させていただきます。武濤委員長と菅原委員から補足等ありましたら一言お願いします。

武濤委員長 ありがとうございます。

今、ヒアリングの対象に出ていた麻生音楽祭のチラシも、皆様のお手元に届いておりますけれども、これにつきまして菅原委員から少しお話をさせていただきますでしょうか。

菅原委員 皆さんのほうにチラシをお配りさせていただいております。第26回を迎えます麻生音楽祭は、「音楽の街 あさお」ということで、6月12日から7月8日までの間開催いたします。6月12日はエルミロードの吹き抜け広場を使いましたオープニングイベント、その後は、18日から19日、7月1日、2日、3日、5日ということで、そのほか協賛イベントも6月25日から7月8日、6月11日から24日と、たくさんの音楽に関係する行事を音楽祭として一緒にやっています。

この音楽祭を、聴きに來てくださる方は1万人ぐらいですが、それぞれの会場をいっぱいにしてくださいまし、スクールコンサートでも13校、それからコーラスのつどいでは25の団体、かなでようあさおの響きでは中学校の8校、アンサンブルのつどいでは13団体、ファミリーコンサートは麻生フィルハーモニーが行います。はじめてのジャズコンサートは昭和音大が行います。そのほか、音楽に関する映画特集もアートセンターで実施していただいております。協賛イベントとして植村さんのコンサートや、あさお芸術のまちコンサートなども開催いたしまして、これを全体で音楽祭ということでやっております。まだのぞいたことがないとおっしゃる方も、どれかにでもちょっとのぞいて見ていただけるとおわかりになるかと思いますが、これはまさに市民が立ち上げて、実行委員会をつくって、これを全部実施しているものです。運営については、舞台をつくる、準備する、そういうことも一般の市民の方に講座を受けていただいて、当日活躍する場面をつくりまして、すべてのコンサートを市民の参加でやっているということです。それぞれヒアリングをする中でまた問題があったら解決していきたいと思っています。

以上、補足をさせていただきました。

武濤委員長 ありがとうございます。

こういった歴史のあるところから、新しく始まったものも含め、いろいろなところにヒアリングをしていきたいということで進んでおります。

今お話のありましたように、地域交流・文化部会は大きく2つのテーマで活動が進められています。スケジュールの補足ですけれども、資料4-2です。こちらをごらんください。これが今の2つの部会、地域交流・文化部会と環境・緑化部会の3月以降のスケジュールになっておりまして、上半分が今ご報告のありました地域交流・文

化部会の活動とその予定でございます。さらにその上半分が最初のテーマ、「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」のこれからのスケジュール、その下が「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」、こういった形でヒアリングあるいは課題解決に向けた取り組みを行っていくというスケジュールになっております。

それでは、地域交流・文化部会の調査審議状況につきまして委員の皆様からのご意見等を伺いたいと思います。1 番目です。「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」についてですが、こちらにつきましてご質問あるいはご意見等ございましたら、お願いいたします。現在、各事業に関してヒアリングを行われて、その課題等をまとめているところでございます。

山崎委員 1つ、地域交流の災害時の助け合いについてです。これは、取り組みが今検討されているそうですが、どういうふうに考えるか、そして、それに伴う若い人をどう取り込むかということもお話ししているのかどうか、その辺を教えていただきたいと思います。

武濤委員長 それでは、竹市部会長、お願いいたします。

竹市委員 1つは、災害という問題だったと思いますが、これにつきまして、防災に焦点を合わせてと書いてありますが、実際問題として、このように防災機能が十分に発揮できるようなまちづくりということは、当然のことながら、その地域のお互いに顔の見える関係といいますか、日ごろの隣近所のおつき合いということができ上がるか、そういうことがかなり浸透していることが前提にあると思います。

したがって、我々がこれから取り組む課題の具体的な検討でございますが、1つには、やはりその地域、例えば、町内会が、まずは活性化といいますか、非常に親睦があったり、交流があったり、そういうところに初めてきずなが生まれ、それで支え合いということになってくるかと思います。先ほどもちょっと触れましたけれども、我々のこれからの課題として、きずなづくり、この抽象名詞をどのような形で動詞化するか、これが1つのテーマだと思います。動詞化するためのシステムであり、組織であり、また日ごろの活動の内容、イベント等を含めて、そういうことをやりながらお互いにわかり合えてきずなが生まれる、このように考えておきまして、そうするのにはどういうことが必要だろうかと、そんな点をこれから検討していったら良いのだろうと、考えているところです。

武濤委員長 よろしいですか。

山崎委員 はい。結構です。

武濤委員長 ありがとうございます。

柳島副委員長 今に関連して、私はこの4月で20年間やっていた町会長をやめました。

私の経験からいきますと、ご存じのように、川崎市では要援護者の支援制度をつくっ

ています。平成19年、要介護度3以上、障害者は障害等級が1から3まで、そういう人に市から案内を送って、申し込みをしてもらって、町会イコール自主防災団体ですから、各町会に名簿が来るわけです。私の住む百合丘2丁目町会は3名が手を挙げ、3名分の通知が来ます。これを実際にやる場合、私のところの町会は役員が8名から9名ぐらいしかいないですが、3つの班をつくって3人ずつ必要になります。そこで、地域に属するマンションに協力を要請したのですが全然音さたがないですね。私は、昔から向こう3軒両隣ということで、遠くの親戚より近くの他人ということを町内広報でやっていますが、全然反響がないです。

私は町連の副会長もこの間やめたのですが、この間町内会のヒアリングを行った対象町会は、熱心な会長のいるところを推薦しました。普通に私どものところみたいにやっても応じてくれない、だから、今、竹市部会長が言われたように、これは広報とか、出かけていって何とか向こう3軒両隣でやってもらうように啓発する以外ないです。とにかくお願いして、ふだんから仲よくしてもらうということです。まして、我々が何かあって行くにも、昔のマンションなら行ってすぐにそのうちの前まで行けたところが、最近の新しいマンションは、なかなか入ることができません。また、隣近所もそういうことで余り交流がない。

私は、地域交流部会で、今度この点についても、町内会、町連の協力を得て本当の広報をして、何とか隣近所の面倒を見てくれとやるほかはしょうがないと、ただ美辞麗句を並べたんじゃ全然解決にならないと思っています。

武濤委員長 ありがとうございます。

今いただいたようなご意見も踏まえて、今後の取り組み等にぜひ反映していただきたいと思います。

それでは、もう1つ、「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について、こちらのほうでご質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

<委員から特になし>

それでは、議事の最初の（1）地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について、ご承認いただけますでしょうか。

<委員、承認>

ありがとうございます。

（2）環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 それでは、次の環境・緑化部会の議事に移ります。

（2）環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について、本日福田部会長が所用のため欠席されておりますので、勝田副部会長からご報告をよろしく願いいたします。

勝田委員 福田部会長がお仕事のため、かわりに私がご報告させていただきます。

環境・緑化部会の経過報告ですが、環境・緑化部会は、「循環型のまち・生ごみリサイクル」と、「グリーンアップ・里山ボランティア」という2つのテーマで活動を進めております。資料2にありますように、「これまでに確認された事項」というのは、1「循環型のまちを目指し、各家庭から出るごみの減量化やリサイクル活動の取り組みの促進に向けた啓発を進めていく。」、2「まだ取り組みがあまり進んでいない『生ごみ』については、各家庭でできる水切りなどの減量化やリサイクル（堆肥化）への取り組みを普及・啓発することで、ごみ処理量の削減や処理に伴う環境への負荷の低減や区民の環境意識の醸成につなげていく。」、3「家庭で余剰となった堆肥を集め、活用したい人へ橋渡しするシステムを検討し、より多くの人が取り組みやすい環境整備を進めていく。」

そこでまず、生ごみの減量化、リサイクルが実際に余り進まない理由を調査しようということで、「麻生区生ごみアンケート」を実施することにいたしました。目的としては、区内各家庭における生ごみの減量化やリサイクル化への取り組み状況をアンケート調査し、現状把握を行う。2番目として、減量化やリサイクル化する上で課題となることを整理し、課題解決に必要な方策を検討する参考資料とする。3番目として、検討中のモデル事業、これはでき上がった生ごみ堆肥をもらいます、あげますというモデル事業ですが、この必要性を判断するための資料とするものです。

調査対象は区内在住者とします。調査方法といたしましては、区町会連合会理事の町内会・自治会、これは町連理事会の日程の関係で、6月に理事会がないそうで、企画部会で承認していただいて、既に5月25日にアンケート用紙を、理事会にいらっしゃる24町会、各50世帯に、1,200部配布済みです。2番目として、市民活動団体への依頼。3番目に、区民会議委員からの依頼。これは区民会議の皆さんに、ご近所やお友達、お仲間などにもぜひ呼びかけていただいてアンケートをとっていただきたいと思います。それから、市政だより区版で7月1日号に載せる、ホームページへの募集掲載、それから区役所ロビーでの直接調査、区役所ロビーへのアンケート箱、区役所ロビーだけでなく、市民館、図書館などにアンケートの箱を設置してアンケートを集めます。

今後の予定といたしましては、5月から7月いっぱいまでアンケート調査をして、8月にアンケートを集計、分析をしまして、その調査結果を区民会議フォーラムのときに公表し、あわせて、区民会議ニュース、ホームページなどへ掲載していきたいと思っています。そのほか、現在検討している生ごみからつくった堆肥の回収を実施する上で、その取り組みへのニーズがどの程度あるかなどをこのアンケートを参考にし、て検討していきたいと思っています。

アンケートをした結果、区民の方への普及、啓発といたしまして、秋に区民会議フォーラムを開催できたらと思っています。目的といたしましては、第3期区民会議

の取り組み課題の1つである「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、課題解決に向けた調査審議経過などを区民に対して報告を行い、広く周知するとともに、意見交換を行う機会とする。内容は、「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、環境・緑化部会で取り組んでいる内容で実施いたします。構成としては、区民会議からの取り組み報告、アンケートの調査結果、モデル事業の案内などをいたします。基調講演は、長崎のNPO大地といのちの会理事長の吉田俊道氏に交渉をしているところで、候補としています。

また、事例紹介やパネルディスカッションなどをそのフォーラムの場で実施したいと思っています。

そのほか、生ごみ堆肥や肥料でつくった花や野菜の写真展や堆肥づくり講座、野菜直売会なども開催できるか検討中です。

(3) 「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの作成ですが、とてもいいパンフレットができ上がりました。区役所、図書館、市民館、区内の小学校などに配布中です。とてもよくまとまったすばらしいパンフレットで、簡単で見やすいので、ぜひこれを活用したいと思っています。以上が生ごみ関係です。

次に、もう1つのテーマであります「グリーンアップ・里山ボランティア」についてです。

「これまでに確認された事項」は、1「区内にある市有地の緑地の中から、管理が行き届いていない場所を選定し、下草刈りを行うボランティアを募集し、モデル事業実施に向けた取り組みを検討する。」、2「モデル事業を実施するに当たっては、町内会・自治会、緑の保全活動団体などにも呼びかけを行い、協働した取り組みを目指す。」、3「市内の農地、山林のうち約42%が麻生区に集積しており、これら緑の資源を活かしたまちづくりを目指す取り組みを検討していく。」

モデル事業実施に向けた今後の取り組み内容としまして、まず事前調査ですが、市有地の中から活動可能な場所をまず選定しないといけないので、これは麻生区の道路公園センターにお願いして、今場所の選定をさせていただいているところです。これを10月か11月ごろの実施をめどに調整して、実施の規模や回数などを決定していきたいと思っています。その上で選定候補地の下見を実施します。3番目として、川崎市公園緑地協会主催のさとやま研修会へ区民会議の委員として体験参加したいと思っています。これは6月26日の日曜日、高石地区で特別緑地になったところです。これはお知らせのパンフレットがこの資料の中に入っていますが。

武濤委員長 クリップの一番後ろの参考資料2というものです。

勝田委員 これは、百合ヶ丘の駅に集合で、身近なところで行う作業です。環境・緑化部会では5名の方が参加することになっていますが、地域交流・文化部会の方々にもぜひ参加していただきたいと思います。参加していただける方は、本日、後でお名前を

おっしゃっていただけると大変ありがたいと思います。

次に、地元町内会・自治会、関係団体への協力依頼ですが、選定候補地が決定しましたら、隣接する町内会・自治会会長さんへ事業のご説明に伺って、また、地元の方たちの参加の呼びかけをいたします。それから、緑の保全活動団体への参加の呼びかけを行います。

運営に関する事項の検討といたしまして、森林インストラクターなどの指導員の確保、下草刈りを行う際の道具の確保があります。これは区役所や建設緑政局、公園緑地協会などにご協力をいただきながら、森林インストラクターを派遣していただいたり、道具をお借りしたりすることになっています。それから、当日に参加する区民会議委員の役割分担、そのほか実施に伴って必要となる事項の調整を8月ごろから行います。

そして、実際にボランティアの募集を9月から10月ごろにかけて行います。市政だよりの9月1日号でまずボランティアの募集をしまして、そのほか、区のホームページやチラシなども活用して募集を行います。それと、実際に選定した場所でモデル事業を実施するのが10月下旬と11月下旬の2回と思っていますが、6月26日の研修会に体験参加してみて、その様子で3回できるか、その結果で検討していきたいと思っています。最後にモデル事業実施結果の検証、提言に向けた取りまとめをしていきたいと思っています。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

それでは、今、勝田副部長からご説明のありました環境・緑化部会の取り組みをスケジュールの中に入れていただいたものが資料4-2の下半分でございます。こういった形で取り組みを進め、やっていくということになります。

それから、先ほどご説明のありましたアンケート調査の実際のサンプルは、参考資料1と右上に書いてあるA4縦型の用紙です。

それでは、今ご報告がございました環境・緑化部会の取り組みにつきましてご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。

まず、1番目の「循環型のまち・生ごみリサイクル」について、この取り組みあるいはアンケート等につきましてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

柳島副委員長 私は別に生ごみのことについて異議を挟むわけではないですが、このアンケートで「堆肥化」と出てくるのですが、これは一般的に考えると、庭のない人はほとんどできないような気がするのですが。今どきは相当集合住宅が多く、また庭のある戸建ての家といっても、庭はほとんど猫の額みたいなものです。アンケートを読んでいます、「堆肥化」「堆肥化」と出てきて、しかも、下のほうのB「庭に直接埋めている」とかいろいろ出てきていますが、この辺については、区民全体、そういう集合住宅のことも念頭に置いてこれをつくっているんですか。

勝田委員 確かにマンションがすごく増えていますが、もちろんそのことを考えていまして、皆さんにお配りするアンケートに、実際に生ごみ処理機などの写真が、出ております。電動生ごみ処理機、段ボールコンポストや密閉容器で、マンションでも、全くお庭がないおうちでも十分生ごみ処理はできますので、ぜひ啓発活動をして、皆さんに生ごみを減らすことにご協力いただきたいと思いますと思っています。

武濤委員長 実は私も同じようにマンション住まいで、同じような質問をしたところですが、この電動処理機などはマンションでも大丈夫なんですね。

勝田委員 これはにおいませんし、生ごみをその容器に入れて電気を使って乾燥させるのでお部屋の中でもできますし、ぜひ皆さんに協力していただきたいと思います。

武濤委員長 本当に技術革新がすごいなと。

勝田委員 そうですね。

武濤委員長 私も知らなかったので、やはりこういうことを、こういうきっかけで知ることができるといいなと思います。

勝田委員 それから、この密閉容器というのは、EMIばかし菌というのを生ごみの中に入れてまして、このままですぐ肥料になるわけではないですが、肥料をつくるグループが現にあちこちでやっていますので、そういう輪も広がっていけばいいなと思っています。

柳島副委員長 私、実は、麻生区廃棄物減量指導員の会長をしまして、この27日に全体会があります。天野委員から頼まれて、会議終了のときに、百何人ぐらい集まる人にアンケートをやって、回答をその日に皆さんから回収する予定です。そのときに、「堆肥化なんていっても、庭がなきゃだめだ、家の中でなんか何もできない」と、私みたいな質問が出るかと思って、あえてお聞きしました。

勝田委員 ありがとうございます。貴重なご意見だと思います。

減量指導員の方たちは意識の高い方ばかりだと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

天野副委員長 補足させてください。電動生ごみ処理機と密閉容器と段ボールコンポストはマンションでもできるという説明があったかと思いますが、電動生ごみ処理機と密閉容器はそのまますぐに肥料にはならないということで、それを集めてほしいという意向があるのではないかと思います。マンションで最後まで肥料にし切れない、だからといって生ごみは回収には出したくないので、その一時処理したものを集めてほしいというニーズがどのくらいかアンケートで調べて、それをモデル事業としたい。例えば、ファイバーリサイクルのように古着を集めてリサイクルするのと同じように、市民がちょっと手間暇かけてリサイクルしたものを集めて、欲しいという団体の方たちに橋渡しできたらというモデル事業につながるかどうか、というのが説明した調査審議状況です。

そして、段ボールコンポストは、最後まで使える状態になるまで自分の家で処理できる。だから、人の手は加えなくていいけれども、やはり使い切れない、プランターだけでは使い切れないという方もいるので、あげます、もらいますというモデル事業はどうだろうかというところにたどり着きました。補足しました。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

今アンケートをとっているところですので、そういったところも踏まえてまた結果の報告などしていただけるかと思います。

それでは、1番目の生ごみリサイクルのほうはよろしいでしょうか。

では、2つ目の「グリーンアップ・里山ボランティア」についてご質問あるいはご意見等ございましたら、お願いします。

飯塚委員 下草刈りと簡単に言っていますが、11月ころだと大体枯れてきています。それで、今の時期なら刈り良いけれども、素人の方がやって、万が一けがでもしたらだれが責任を負うかというのがまず1つあります。我々はいつも自分のところでやっていますが、よほど危ないところだけは鎌を使いますが、あとはみんな機械でやっています。それで、機械でやるということで——実際にうちのほうでも足を切られた人がいるんです。ですから、もしそういう機械を使われるのでしたら大変です。鎌だったら、とてもじゃないけれども、素人の人が幾ら研いでも切れません。切れるようにならない、刃がつかない。ですから、これは、よほどそういうことをきっちり決めてやられたほうがいいと思います。ご近所の町会などに行ってお話しすると言っていたが、町会長がそういうことを経験していれば、こういうような返事があると思います。やるんだったらよほど慎重にやられたほうがいいと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。

では、勝田副部会長、お願いします。

勝田委員 また貴重なご意見ありがとうございます。今回の事業につきましては、機械は危ないですから一切使いません。10人に1人ぐらいインストラクターについていただいて、草だけじゃなくて、しの竹を刈ったりなどいろいろな作業があるかと思いますが、本当に慣れていない人は刈ったものを束ねる役とか、仕事も分担します。また、保険に入ればいいというわけではないですが、一応ボランティア保険にも入ります。区民会議が主体とはいいながら、公園緑地協会など普段やっている方たちに全面的にお世話になりながら今回は行おうと思っています。とにかく電動草刈り機は絶対に使いませんし、鎌とのこぎりを使う程度とし、慎重に行って行きたいと思います。

武濤委員長 今、時期とその方法ですね。非常に貴重なご意見をいただいたと思いますので、そういったことも踏まえて進めていただければと思います。

それでは、ほかにございますでしょうか。

では、議事の（2）環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について、ご承認

いただけますでしょうか。

<委員、承認>

ありがとうございます。

(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 それでは次に、議事の3番目に入りたいと思います。

(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換についてでございます。こちらにつきましては、企画部会の金光部会長からご報告をお願いいたします。

金光委員 では、企画部会のほうから、3つの点についてご報告並びに審議をいたしますので、よろしくお願いします。

まず第1に、全体テーマについてですが、前回区民会議で、企画部会のほうから提出いたしましたが、さらに意見を再募集して、この場でもって決めたいという意見がございましたので、一応何件かの募集を受けたものを我々企画部会のほうで審議をさせていただきました。そのとき出されたテーマにつきましては、この資料3のところに載っているとおり、1つが前期から引き継いだテーマです。「心が響きあう地域づくり」、それから、新たに皆様方から「かかわりあう地域づくり」「支え合い 麻生」「みんなで行う地域づくり」「人と人と手をつなぐ地域づくり」「人と人と心をつなぐ地域づくり」という5つのテーマが集まってまいりました。

我々企画部会でいろいろと審議を重ねた結果、この中からここに太字で書いてあります「人と人と心をつなぐ地域づくり」、これが一番良いのではないかという結論に達しまして、ここで皆さん方にご提案させていただきました。

その理由としては、これは皆さん方も報道のほうでも嫌というほど耳にしていると思いますが、先ほど竹市部会長のほうからもお話があったきずなという言葉が大震災以降頻繁に報道される。やはり人と人とのきずなというものがこれからのいろいろな地域づくり、あるいは何か1つの審議をしていく、検討していく上で非常に大切だと。特にこの区民会議でもいろんな議題を今検討しています。そのときにやはりお互いがお互いで協力し合う、そういうつながりというものが非常にうまくいくことによっていい成果が出てくるのではないかと考えまして、「人と人と心をつなぐ地域づくり」を我々の今回の区民会議のテーマとしてご提案させていただきたいと思います。これについてご審議をしていただければと思います。

武濤委員長 今ご説明がありました全体テーマについてですが、ご説明のあったような形で、「人と人と心をつなぐ地域づくり」が企画部会から提案されております。

これにつきまして、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

それでは、第3期区民会議の全体テーマとしまして、「人と人と心をつなぐ地域づくり」ということで決定してよろしいでしょうか。

<委員から特になし>

ありがとうございました。

金光委員 次に、区民会議フォーラムについてですが、開催回数は2回を予定しております。場所は区役所の第1、第2会議室で実施しようと考えております。

スケジュール的には、第1回は「『循環型のまち・生ごみリサイクル』について」というタイトル、これはまだ仮題です。実際にはもうちょっと検討して別のテーマになるかもしれませんが、循環型、生ごみに関してのフォーラムを実施したい。

日程につきましては、9月24日、25日、それから10月2日のどれか。これは当然講師の方との日程調整がございますので、その調整をした上でこのどれかに当てはまった形で実施したいと考えております。これを実際に企画するに当たりまして、環境・緑化部会を中心として企画を検討して、そして、実施のいろいろな組み立ては企画部会が実際に行うという形で進めていきたいと考えております。

それから、第2回目は、タイトルについてはまだ検討しておりませんが、日程的には、2月18日、19日、25日、26日ということでこの会議室を押さえさせていただいております。その2回目のフォーラムにつきましては、地域交流・文化部会を中心として企画を検討し、それを企画部会が調整するような形で進めていきたいと考えております。

このフォーラム実施につきましては一応全員参加という形をとりたいと思いますので、実際に開催するに当たりまして、それぞれの役割分担を決めさせていただきます。その際には皆さん方の絶大なるご協力をお願いしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

武濤委員長 それでは、2番目の区民会議フォーラムについてということで、2回のスケジュール、内容、それから日程案といったことでお話をいただきました。

A3の資料4-1です。全体の区民会議のスケジュールを見ていただきますと、今6月が第4回区民会議になっておりまして、ここにフォーラムの日程の案として、点線で9月から10月にかけて、それから2月から3月にかけて、今ご説明のありました日程案で、こういう全体の流れの中で計画していつはどうかということでございます。

今ご説明がありましたことにつきまして、ご質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

山崎委員 2月のフォーラムですが、実は2月19日、26日、この辺は日曜日で、スポーツ振興会の事業がいろいろ入っています。ですから、2月の土曜日はいいのですが、日曜日は何人か出られない人が出てくるのではないかとということです。

金光委員 運動会ですか。

山崎委員 バレーボールとバドミントンです。

金光委員 バドミントンの競技会大会ですね。

山崎委員 はい。土曜日に開催する分には問題ないと思うので、その辺ご配慮いただきたいと思います。

金光委員 わかりました。では、日程につきましてはまた調整させていただきたいと思います。

武濤委員長 それでは、日程については改めてまたこの範囲の中で調整をしていきたいということでございます。

ほかにご意見はございますでしょうか。

それでは、このような方向性で進めていくということによろしいでしょうか。

＜委員から特になし＞

ありがとうございます。それでは、3番目をお願いいたします。

金光委員 それでは、区民会議ニュースについてですが、発行回数については、第3期区民会議としては5回発行するという事にさせていただきたいと思います。このニュースは、町内会・自治会の協力をいただいて回覧していただく。そうすることによって我々の活動が広く会員の方々あるいは町会の方々に理解していただけるだろうと考えております。区民会議の取り組み報告だけではなくて、フォーラムの開催につきましても区民の方々に広く報告して、認知させていただきたい。なるべく多くの方がこのフォーラムに参加していただけるような環境づくりをこの区民会議ニュースを使ってしていきたいと考えております。

スケジュールにつきましては、ここの表にあるように、第1号、第2号につきましては既に発行済みですが、第3号については、区民会議全体の会議の内容とともに、今度実施しますフォーラムについての開催案内を同時に載せていって、多くの方々に区民会議がフォーラムを実施しますということをお知らせしたいと考えています。それから、第4号につきましても、第5回区民会議全体会議に報告すると同時に、第1回フォーラムのこういう結果でしたという報告をここに掲載していきたい。それと、第2回目のフォーラムについての実施案内の広報を載せて周知徹底を図っていききたいと考えています。それから、第5号につきましては、同じように区民会議全体会議の報告と同時に、第2回フォーラムの実施内容を掲載するという予定で組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

武濤委員長 ありがとうございます。

今の区民会議ニュースについてですが、先ほどの横長い資料4-1のほうで、一番上の枠「区民会議」の中の5月のところに区民会議ニュース2号、これはもう既に発行済みです。その右側、8月のところ。点線で区民会議ニュース3号はこのあたりの時期に、次の区民会議フォーラムの予告も入れたような形で発行したい。それから、4号は12月から1月のところに枠が囲ってございますけれども、ここで秋のフォーラムの報告と次のフォーラムの案内をしていくということです。その後の5号につ

きましては、2月、3月に計画されております区民会議フォーラムの報告を兼ねたような形で発行していきたい、このようなご提案でございます。

これにつきましてご質問あるいはご意見等ありましたら、お願いいたします。

＜委員から特になし＞

それでは、企画部会からの3つのテーマにつきまして審議が終了いたしましたので、議事の（3）企画部会の検討経過報告及び意見交換について、ご承認いただけますでしょうか。

＜委員、承認＞

——ありがとうございました。

それでは、今日の議事の部分につきましてはすべて審議が終了いたしました。

### 3 その他

#### （1）第5回麻生区区民会議開催日程について

武濤委員長 では、続きまして、その次です。その他の（1）第5回麻生区区民会議開催日程について、金光企画部会長よりお願いいたします。

金光委員 これからの区民会議の日程については、皆様のお手元に第5回区民会議開催日程調整表をお渡ししていると思います。この調整表の中でご都合のいい日にちに○をつけていただきたいと思います。だめなところは×印をつけて、今日お帰りになるときに事務局にお渡ししていただきたいと思います。それを集計しまして、事務局で参加者が一番多い日にちを次回の区民会議の日程ということにさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。今ここで記入していただければと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。

できれば本日記入してくださいということです。もし提出できない方は、6月15日までにファックスかメールでということになっています。15日の後1週間ぐらいで連絡があるはずだということですのでよろしいですか。

金光委員 一応事務局からメールでも連絡を入れるそうです。

武濤委員長 日程が決まったら、事務局から皆様のところにメールやその他の方法でできるだけ早くご連絡をしてくださる、ということですのでよろしいですか。

事務局 決定しましたら、メールをお持ちの方はこちらのほうからメールリストで送らせていただきます。

武濤委員長 それでは次に、平成23年度麻生区地域課題対応事業につきまして事務局からご説明していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、資料5をご覧ください。A4で横になっております。平成23年度麻生区地域課題対応事業一覧でございます。こちらは、区が主体となって地域課題解決に

向けた取り組みを行うために実施する事業一覧となっております。既に市政だより区版の5月1日号に概略は掲載しておりますが、より具体的に本日区民会議の皆様方に資料をお出しさせていただくものでございます。

なお、見方ですが、左上のほうに番号が1から8まで振っておりますが、これは大分類になっておりまして、左に整理番号、右側に行きまして事業名、それから、種別については新規、継続。新規についてはわかりやすいように網かけをしております。その右側が概要で、さらにその右側が今年度の予算額、そして主な所管課を記載させていただいております。

大分類の1、麻生区安全・安心まちづくり事業に始まりまして、最後のページ、8、その他経費でございますが、40事業ございまして、総額6,868万5,000円となっております。こちらを今年度執行するということで、皆様方にご報告をさせていただくものでございます。

武濤委員長 ただいま報告いただきました平成23年度麻生区地域課題対応事業です。こちらの内容につきましてご質問等ございましたら、お願いいたします。

柳島副委員長 別に、内容はもう決まったことだから今さら言ってもというのがありますが、我々に今これを報告して何の意味があるのですか。

私は町内会連合会をこの間やめましたが、町連のときから言っている問題で、我々の意見でも、例えば町連にこれを提示したなら、来年に備えて意見でも聴取して参考にするならいいですが、決まったものを教えるだけで何か意味があるのですか。

事務局 まず、皆様方区民会議のほうも、地域の課題等を調査、審議していただいておりますので、区のほうで主体的になっている地域課題対応事業についても情報を共有させていただきまして、来年度の秋の予算要求のときには皆様方のご意見もいただければと思います。

また、今後区民会議でモデル事業になったものを提案型事業でやるとか、あるいは、区民会議のモデル事業をそのままこちらの地域課題対応事業でやるとか、そういう選択肢もございますので、こちらをごらんいただければというところです。

柳島副委員長 では、来年の予算編成の参考にすると。それをやらなければ意味がないと思います。私は町連のときから、何年も前から言ってますが、いや、素人は関係ない、役所だけで決めるということでは、これを出したって意味がない。この関係で、区民会議のほかに予算がどこにあって、それは皆さんの意見を聞いたら来年は増額なり減額なりしますというならいいけれど、今さら決まったことを出したってどうしようもない。

来年のことで、区民会議の関係で予算を増やすなりするのでしたら我々に提示してもいいと思いますが。

事務局 今日の議事の中でも、区民会議主体でモデル事業をさせていただくことになった

ときに、将来継続的にやるために、区民会議の予算ではなくて、例えば、こちらの麻生区地域課題対応事業として予算化したもので、事業を続けるなどということがあるということです。

天野副委員長 質問の追加です。例えば、大項目4の5、エコのまち麻生推進事業に149万円、これに関しては、例えば、「エコのまち麻生」の推進という2期の区民会議の提言を受けて、ここを充実させてくださったんでしょうか。

そんな感じで、私は、区民の意見が反映されると信じています。ですから、むしろ区民会議に入ったことによって、2期の時と3期の時と目にして、ああ、こういうところで使われているんだというのはとても参考になりました。

ただ、もしも意見があった場合、いつまでに言えば次の年の予算に間に合うのか教えていただけたら、ぜひ言わせていただきたい。

事務局 天野委員が言われたとおり、こちらのエコのまち麻生推進事業については第2期区民会議の意見を入れて、取り入れたものでございます。

武濤委員長 予算化のための予算案提出のスケジュールみたいのは大体何月ぐらいですか。

事務局 大体8月ぐらいに予算の見積もりなどをしまして、9月ぐらいに提出する形になっています。

武濤委員長 そうしますと、そのあたりの時期までのいろんな議論の中で、参考にしていただけのことがあるということ。

柳島副委員長 だから、大きな団体の意見を聞けばいいと思います。今まで何年間も、町連で歴代の区長に言ってきましたが、結局は検討するということで、決まった後に出してくる。むしろ私は、町連をずっとやっていて、役所の組織だけで決めないで、大きな団体の意見を聞くべきだと思います。意見だけで、取り入れるかどうかかわからないけれども、そういう前提のもとでもやはり意見は聞いてもらわないと、決まってから「はい、これで決まりました、ご異議はありませんか」と言われて、異議があっても、取り扱ってくれるわけじゃない。私はいつもそう思っていて、今たまたまこれが出てきて、その点については不満だったから。

事務局 ただいまの言葉は重々受けとめさせていただきたいと思います。

金光委員 エコのまち麻生推進事業で、この中に「区民や市民活動団体等との協働により『エコのまち麻生』を推進する。」と書いてありますが、この市民活動団体はどこですか。

まちづくり市民の会もエコ推進をやっていますが、この中では、その団体に該当する予算はどこにも入っていないんですが。

事務局 エコのまち麻生には麻生区クールアース推進委員会への委託費が入ります。

金光委員 エコのまちというのが出てきたから、これはどこかなと。市民活動団体等との

協働と書いてありますが、我々（まちづくり市民の会）も地域振興課と協働でエコの推進をやっていますが、それとダブっているんですか。そうすると、予算が違うんですが。

事務局 まちづくり市民の会の予算は、6の地域コミュニティ活性化推進事業の1、麻生区まちづくり推進事業になるかと思います。

金光委員 わかりました。

武濤委員長 ありがとうございます。こういったものが出てきて、いろんな意見が出ることはとても大切なことだと思います。また引き続き夏ぐらいまではいろんな意見が反映される可能性があるそうですので、よろしくお願いいたします。

武濤委員長 それでは、今このご説明をいただいたところですが、もう1つ、先ほど環境・緑化部会のほうでご説明がありました「麻生区生ごみアンケート」です。もう既にアンケートを実施しているところもあります。これにつきまして、今日この場で皆様にもご協力いただきたいとの依頼をいただいております。これにつきまして、勝田副部会長のほうからご説明をお願いいたします。

勝田委員 皆様のお手元に1枚だけになっている裏が真っ白なアンケート用紙が配られていると思いますが、今ちょっとの時間で、数分でできますので、実際にアンケートに参加していただきたいと思います。記入済みのものは事務局のほうにお渡ししていただきたい。

それと、今日アンケート用紙をたくさん用意しておりますので、ぜひ個人の方、皆さんお持ち帰りいただいて、ご近所の方や友達やいろんなグループの方に、何十部でも結構ですので、お持ちいただいて、ご協力をお願いしたいと思います。

武濤委員長 それでは、もう書いていらっしゃる方もいるようですが、二、三分ぐらいでできるそうですので、この場でそれぞれご記入していただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

天野副委員長 これが区役所のロビーの机の上に置く予定の回収箱です。区民会議へのアンケートと同じ場所に置くのでしょうか。

事務局 明日から区役所ロビーに置きます。

天野副委員長 また補足ですが、一言説明させてください。

先ほど減量指導員の会でもアンケートをとるとおっしゃっていただきましたが、そういうところとったアンケート結果と、ワンルームがあるような自治会と、結果が結構違うと思います。それと、私の関係するごみ連絡協議会とか、ごみ関係をやっているような団体ですと、やはりリサイクルの集計が違うと思います。ロビー、ホームページから直接自主的に区役所に答えをくださったり、自分で持参くださったり、郵送くださったりした方の集計と、自治会にお願いして町内会・自治会で行った回収と、それから区民会議委員が頼んで各市民団体にしてもらった集計など4つぐらいに

分けて集計結果を報告し、かつ、麻生区全体として1つの結果を出そうとしています。

ですから、皆さんの関係で、もしお友達の団体にか、近所の自治会の班にか、その辺は集計を変えますので、自由に検討してみてください。

武濤委員長 それでは、皆様記入を終えていただいたようですね。参与の皆様もありがとうございました。

今お話のありましたように、お配りいただける場合はあちらのほうにこのフォームが用意してございますので、お持ちいただければと思います。

ほかにご意見はありますか。

植木委員 全体テーマは「人と人と心をつなぐ地域づくり」ということで、大変すばらしいテーマだなと思います。地域交流・文化部会でも話題に出た内容ですが、人と人と心をつなぐに当たっては、個人情報の保護、そのことについて現状どういう具合になっているかということを少し勉強したいです。

例えば、何か災害があったときに隣の人はどういう人で、動けない人がどれぐらいその町内会にいるのか、高齢の方はどれぐらいいるのかということを実際につかんでいないんじゃないかと思うんですね。それはなぜつかめないかというと、個人情報保護法という1つの大きな壁があると思うんです。そういう中において、現実行政はどういうふうに考えているのか等々含めて、それを知らないと、幾ら言葉で人と人と心をつなぐと言っているかというような気がします。

武濤委員長 今のご提案は、そういう勉強会を行政の方に開いていただくということでしょうか。

植木委員 そうですね。どのようにになっているのか知りたいわけです。言葉で人と人と心をつなぐといったって、そこら辺の情報はどういう具合になっているのか——例えば、町内会長にそれが行っているのか、民生委員に行っているのか。

柳島副委員長 まず、それを知りたいければ、自分の町会へ行って町会長に聞いてみてください。私のところの町会では、敬老の日に、77歳以上の人には簡単なものですが、お祝い品を贈るんです。それを最初にするときに困って、手を挙げてもらったんですよ。何年何月の9月15日現在、昭和何年から、77歳の人は手を挙げて、班長を通じて私のところへ持ってきてくださった。班長を通じてというのは、班長さんは、77歳以上のお年寄りはどこに何ていう名前であらっしゃるかがわかる。そういうことで、よほどの人でない限りは手を挙げない人はいないと思いますから、私のところでは77歳以上はどこに何班にいるというのは、町会長と幹部だけはわかっています。

植木委員 僕の言いたいのは年齢だけでなく、体の弱者、障がい者、そういう人たちも町内会でご存じですか。

柳島副委員長 さっき説明したように、要援護者の支援制度で、いざというときは人の助

けを借りなければという人を、町会ではつかんでいます。市から報告が来ますから。手を挙げた人はおたくの町会ではこの人とこの人だからお知らせしますということで、心配もわかるけれども、ある程度は町会としてはつかんでいますね。

植木委員 それは手を挙げた方をつかんでいるということですか。

柳島副委員長 要援護者というのは、市は資料を持っていて、この人は要介護度3から5、障がい者は障害等級1から3までの人で申請してきた方です。

植木委員 それはそれでいいですけども、一応僕は行政のほうからそこら辺のことについてきちんとしたお話を聞きたいと思うんです。

武濤委員長 わかりました。金光部会長、1度企画部会のほうで、こういった形で今のご提案に対していくのか聞き取らせていただいて、検討するという形でいかがでしょうか。

金光委員 今の植木委員の言っていることは非常によくわかるんです。僕も町会長をやっていたときにやはりそういう問題に突き当たりました。それで、まずどういうことをやったかという、うちの町会の話ですが、それぞれの台帳をつくっているんです。それぞれの家族で、何人家族がいて、生年月日はいつというようなものをつくっていたんですが、カードでつくっていて、それでは集計がとれないので、それを全部コンピューター化したんです。グループごとの平均年齢だとか、年がたつと自動的に1つずつ年が変わるような形のコンピューターのシステムをつくってやると、老人会からこの人にお祝いしなければいけないというのはコンピューターでソーティングすると自動的に出てくるんです。

民生委員の方々も、個人情報保護のために、区役所からだれが一人で生活していて、どういう人がやっているのかというような情報がなかなかつかめなくなって困っていたという事情がありましたが、うちの町会では民生委員にそういうのを全部情報提供しています。——ひとり暮らししている人はこれだけいますよという形で民生委員のほうに情報を出していましたので、高齢者についてはわかるんです。しかし、痴呆だとか、いわゆる膠原病になった患者さんだとか、それから、怪我して不自由になった人たち、そういう情報については近所の人にはなかなか情報を出したがりません。

そういう人たちに援助の手を伸べようとしても、実際に家族の人たちが嫌がりません。隣近所で、向こう3軒両隣の人はみんな知っているんですが、それを町会の中で、組織立って何かしようとしたときには、やはり家族としては余分な人たちには知られたくないから、ほうっておいてくださいというような形になります。しかし、隣の人が援助したり何かするには別段拒まない。ですから、そういう形で、組織としてはできないけれども、隣近所の中で助け合いましょうという形を提案して、それで動くような形をグループ内でしてもらおうような協力体制をとったんですが、でもなかなか

かうまくいかない、やってくれる人とやってくれない人、千差万別ですね。

だから、今後地道にそういうことを働きかけられるような環境づくりをやっていく必要があるのかなということです。今回の区民会議で取り上げた高齢者対策についても、向こう3軒両隣の協力関係をどうつくっていくかをそれぞれの町会長さんをお願いして、そして、地域の中でそういう環境が生まれるような雰囲気はどう醸し出していくかということをやっていく必要があるのかなと考えています。

田中委員 今、植木委員が提案された勉強会ですが、地域交流・文化部会の中の地域交流の関係、私もそのメンバーの1人ですが、ここがこの問題には一番関係が深いと思いますので、地域交流・文化部会のほうで企画をして、区の方に来ていただけるようであれば、勉強会をやること自体は結構なことじゃないかと思います。私もよく知りませんし、大変関心があるので、ほかの部会の方ももし関心がおありであればご案内をして、参加していただいたらどうかと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。今、地域交流・文化部会のほうにこれを引き継いでいってはどうかという意見ですが。

魚本委員 高齢者の方はそのような感じですけども、障がい者の場合は、健康福祉局のほうで手帳を持っている人は全部把握されているはずです。そういうところも、要するに行政の世話になりたくないという方は申請していません。申請主義ですので、いろんな手当をいただいたりというのは自分たちの意思でもらっています。ですから、要援護者の方、全部の方がそこに申し込んでいないというところが1つのネックかなというのはあります。

武濤委員長 竹市部会長、今いろいろな意見が出てきましたが、地域交流・文化部会のほうで今のお話を踏まえて、これからのことを検討していくということでよろしいでしょうか。

竹市委員 次の部会の1つのテーマになろうかと思っております。

それから、もう1つ、今の植木委員の質問と直接的にはどうかと思いますが、今度の3町会をヒアリングした中で、ある大きな町会の町会長さんから全く同じような質問といいますか、要請が出ていました。それは、行政のほうでそれなりに情報は握っているはずですが、町会長になかなか情報を出してもらえないのかなということです。何か区民会議等で、直接町会長じゃなくて、もうちょっとクッションを置くとか工夫してもらえないものだろうかという質問があったことは事実です。

民生委員のところには、生活保護世帯の報告だとか、また、先ほどから話が出ています要援護者については町内会長にきているわけです。ところが、実際問題として、登録しない人も結構多いと。ところが、その部分で、行政がわかっているんだったら何か教えてほしいという要望は、町内会を初め、民生委員の方からも時々聞く声ですので、どう対応するかは別にして、そういう課題があるということだけ申し上げてお

きます。

武濤委員長 それでは、これにつきましては、地域交流・文化部会のほうに引き継いでまたお話を進めていっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

菅原委員 先ほど柳島さんから、麻生区の地域課題対応事業の予算と内容が出ているけれどもこれは、という話がありました。継続が35事業で、新しいのは5事業ですね。この35の事業、1つ1つの予算が増えたか、減ったかを見れば、麻生区が何に力点を置いて予算要求したかというのが本当は一目でわかるはずですが、何も書いていなくて予算だけ書いてあります。

本当はここに、22年度より何がどれだけ増えたのか、それから減らしたのかというのを書いてもらいたかったと思うので、区民会議委員の皆さんにそれに対応した内容を全部送っていただきたいと思います。そうでないと、自分が関係しているところだけはわかりますが、ほかのところはわからないので、お願いいたします。

武濤委員長 事務局のほうは、それはお願いできますね。

事務局 了解いたしました。

武濤委員長 よろしくをお願いいたします。

それでは、時間も差し迫ってまいりました。特になければ、議事のほうをここで終了させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。——それでは、議事はこちらで終了いたします。

本日大変お忙しい中、参与の先生方にご出席いただいております。この区民会議へのご助言等ぜひいただきたいと思いますので、お願いできますでしょうか。

まず、勝又参与からお願いいたします。

勝又参与 こんにちは。ご苦労さまです。

私は、今日、だいぶ遅れて来てしまいました。実は3.11の震災の関係で、議会で、早稲田大学の地質工学の濱田先生をお呼びして、臨海部の液状化した箇所をずっと見て回って、学習講演会を終わってすぐこちらに来たという関係で遅くなってしまいました。

調査審議課題については、今年度、3回行う会議のうちの第2回目で、またこれからずっと継続で行われていくということです。今日は、遅く来てしまったものですから、意見をというわけにはいきませんので、次の機会にまたゆっくり聞かせていただいたところでお話をさせていただけたらと思います。ありがとうございました。

武濤委員長 ありがとうございます。

それでは、木庭参与、お願いいたします。

木庭参与 初めまして。

今回初めて議員にならせていただきまして、このような会に参加させていただくことになりました。私は生まれてずっと麻生区民ですが、自分が生まれ育ってきた麻生

区のことを皆様がこれほど一生懸命考えていらっしゃるということを、今こうして会に参加させていただいて、私もしっかりととらえていきたいなと考えています。

先ほどもお話がありました個人情報の縛りがある中ということで、向こう3軒両隣というのを、私が子供のころは普通にあったそういう近所づき合いが、確かに今私が母親としてこの地域に住んでいても減ってきているなど、それを拒む人もふえているなどというのは実感としてあります。

ですから、先ほど植木委員もおっしゃっていましたが、この問題を解決していかなければ、地域防災などといったことも前に進めないのではないかと私個人的には考えております。ぜひこれからも皆様と一緒に麻生区を良くしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。

武濤委員長 ありがとうございます。

それでは、月本参与、お願いいたします。

月本参与 皆さんこんにちは。お疲れさまです。月本でございます。

私も木庭さんと同じで、この4月に初めて当選をさせていただきました一番若い市議会議員でございます。今まで傍聴者側で何度か区民会議というのは拝聴したことはありまして、今回初めて参与という形で参加をさせていただきました。

先ほど最後のところで、柳島委員のお話もございましたが、区内の事業に関して、その事業の予算について、こうやって区民の皆さんが主体になってしっかりと話し合いを進められているという今の内容を実りあるものにできるように議会の中でも活動をしていきたいと思っておりますので、ぜひまたご指導をよろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

それでは、吉田参与、お願いいたします。

吉田参与 お疲れさまです。県議会議員の吉田大成でございます。

区民会議の皆さんのご議論を私自身もまた勉強させていただきながら拝聴させていただきました。

最後に、柳島委員、また、菅原委員からもありましたけれども、地域課題対応事業は、確かにこうして一覧で出される意味は十分あるとは思いますが、説明の仕方にはやはり工夫が必要だと思います。

区民会議で、これまで数を重ねていろいろと議論されてきた、そのテーマ、その課題や提言がどういう形で区としての予算要求に生かされているのか、反映しているのかというそういった部分が見えてこない、議論する側もなかなかし尽くせない部分もあるのではないかなと思いますので、またこのあたりも区の幹部の皆さんにおかれては工夫をされていていただければと今日は感じさせていただきました。以上です。お疲れさまです。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

参与の皆様には、今後とも区民会議へのご助言等どうぞよろしくお願いいたします。

それでは最後に、本日の審議も踏まえまして、瀧峠区長からごあいさつをお願いしたいと思います。

区長 改めまして、麻生区長の瀧峠でございます。本日は各部会からのご報告、それを踏まえた審議、ご討議、大変長時間にわたりましてありがとうございました。

各部会でのテーマ設定につきましては、詳細は今ご議論がされたところですが、地域交流・文化部会での、1つは、大きく地域でのささえ合いですとか、部会長さんはきずなづくりというような言葉をお使いになられましたが、コミュニティのベースになるようなものですとか、それから、芸術・文化のまちづくりというのはもちろん麻生区の大きな特徴でございますので、そういった適切なテーマ設定をしていただいていると感じているところでございます。

それから、環境・緑化部会につきましては、1つは生ごみの減量化、リサイクルということで、これは少し前から、麻生区だけではなくて、川崎市全体あるいはオールジャパンというレベルで大きな課題になっていると思いますが、なかなか進まない部分もあるということです。モデル事業もこの後期に企画をしていただいているということで、麻生区のほうからも1つでも大きな提言等をいただければと思います。

それから、緑の関係につきましては、これも皆さんはご承知かと思いますが、麻生区の大きな特徴でございます。こういったものを生かしたまちづくり、あるいは地域の中で多くの方々がそういう緑の活動なりにどうかかわれるかというのも非常に大きなテーマだと思います。この件だけではなくて、それぞれのところで各委員さんからはいろいろ貴重なご助言なりアドバイス等もございましたので、私が言うのも僭越でございますが、そういったご助言等も十分踏まえた上で、今後ぜひ取り組みをお願いできればと思います。既にヒアリング調査等を実施していただいた部会もございすし、これからアンケート調査、ヒアリング調査、モデル事業、それからフォーラムの実施、提言、報告書の取りまとめと非常に盛りだくさんで、皆さんお忙しい中大変恐縮ですが、引き続きぜひご尽力を賜ればと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから、もう1点、先ほど何人かの委員さんから出ておりました地域課題対応事業につきまして、最後に吉田参与からもございましたが、具体的には菅原委員のほうから、資料のつくり方のご指摘もございました。1つは、そういうわかりやすい資料であったり、それをきちんとご説明する場を設けさせていただくことが必要ですし、これまでも区民会議を初めとして、皆さんのいろいろなご意見、ご要望というのは日常の中でたくさんいただいております。行政としては、そういったものを十分に踏まえながら、全体のバランスも考えながら予算編成をしているところでございます。

もちろん、先ほど副委員長さんからお話もございましたが、最終的には行政のほうの責任ということもありますが、取りまとめなり、予算措置の過程で、いろんな形でご意見をいただく、あるいは、そのご意見をいただいた結果がどうなったかきちんとご説明する、そういったプロセスや取り組みが大事だと思いますので、そのやり方などについても少し検討させていただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

#### 4 閉 会

武濤委員長 どうもありがとうございました。非常に心強いお話をいただきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、長時間にわたりましたが、これで第4回区民会議を終了いたします。委員の皆様、それから、傍聴あるいは関係の皆様、長時間にわたりまして、ご審議、ご同席どうもありがとうございました。これにて会議を終了いたします。（拍手）

午後5時閉会